広報こすど
発行所 小須戸町公民館
新潟県中蒲原郡小須戸町
編集発行 印刷人 矢部喜三郎

町財政事情・公表に関する条例等 決まる

―六月定例町会―

六月二十五日午前九時より定例町会が開かれ次の事が議決された。

一、小須戸町公民館図書貸出保証料徴収条例

従来公民館図書室が会費として月二十円を徴収していましたが、今回条例化の上貸出保証料として町予算に繰入れた上、あらためて図書購入費として返還されるもの。

二、小須戸町監査委員の設置及びその事務執行に関する条例

町の経営する事業の管理、出納その他の事務の執行を監査するため議員の内より一人、民間の学識経験者より一人を監査委員に選出し、毎月一回（十五日）町の経営に係る事業の管理や、出納の事務その他の事務が適正に行われているかを監査する。又監督官庁や町民、議会より要求があった時その事について監査し、もしも行きすぎがあつた場合、これを制限したり、禁止することを勧告する。本年九月一日よりこの制度は発足する。

三、小須戸町財政事情の作成及び公表に関する条例

木町三十五年度の予算額は四月の「広報こすど」紙上で御知らせ致しましたが、今後毎年二回収入支出の状況、住民の負担の状況、公営事業の経理の状況、財産公債及び一時借入金の現在高その他必要な事情など公表する。公表の方法は掲示が原則であるが公表の月の「広報こすど」の号外形式で各戸へ配付したい。

四、小須戸町国民健康保険条例の一部を改正する条例

国民健康保険税の納期が次の通り改正された。

第一期	四月	十六日から三十日まで
第二期	六月	十六日から三十日まで
第三期	八月	十六日から八月三十一日まで
第四期	十月	十八日から十月三十一日まで
第五期	十二月	十六日から十二月卅一日まで
第六期	二月	十六日から二月末日まで

その他特別職の給与報酬、費用弁償に関する条例。

小須戸町職員の給与に関する条例の一部改正。

小須戸町職員の服務の宣誓に関する条例、議会委員会条例の一部改正一般、特別会計の更正予算等が議せられた。

定刻守って 良い町づくり

新生活 入選標語

ポスター標語等が着々と進められています。

一万二千の町民各位、何卒この保護司の仕事に全面的な協力と御指導をお願い致します。

また保護司の片腕となつて働いていてくれる若い方々の会に、BBS会というものがありまして、保護司の仕事を陰に陽にたすけてくれております。

尚保護司、BBS会員は次の通りです。

小須戸町保護司
宮崎 純能
野崎 春作
坂口 道海
江川 徳大
間島 金治
成田 高常

小須戸町BBS会員
能登 ノブ
保科清一郎
三浦 栄一
穴沢 義雄
会田 良治

明かるい社会を築く 奉仕の人々

(一) **保護司の使命**

保護司法の第一条に「保護司は社会奉仕の精神をもつて、犯罪をした者の改善及び更生を助けるとともに、犯罪の予防のため世論の啓発に努めもつて地域社会の浄化をはかり、個人及び公共の福祉にこの仕事に奉仕しています。

三十四年十月二十一日更生保護制度施行十周年の記念式に、天皇陛下から更生保護制度の発足以来関係者は幾多の困難を克服して、社会の秩序維持と個人及び公共の福祉の増進に貢献してきたが、今後さらに広く国民の理解を求め犯罪のない明かるい社会を築くため、一層努力せよと有難いお言葉をいただきました。

犯罪をした者の改善更生保護よりも地区から犯罪者を出さないように予防浄化することが第一条件かと思います。

それには町民各位の御協力と各種団体の御援助に頼らなくてはならないのであります。先ずもつて家庭教育の強化と社会教育の充実とに尽たなければなりません。今年の三月発足しました小須戸町青少年問題協議会がこれを指導し推進しています。この会の事業として青少年の育成強化、保護矯正、不良化防止があげられています。町の各種団体長に委嘱してこの目的達成のため御協力をいただいております。

環境調整のため講演会映画会、社明運動、封筒募金、禁酒禁煙のためのポスター標語等が着々と進められています。

一万二千の町民各位、何卒この保護司の仕事に全面的な協力と御指導をお願い致します。

また保護司の片腕となつて働いていてくれる若い方々の会に、BBS会というものがありまして、保護司の仕事を陰に陽にたすけてくれております。

尚保護司、BBS会員は次の通りです。

小須戸町保護司
宮崎 純能
野崎 春作
坂口 道海
江川 徳大
間島 金治
成田 高常

小須戸町BBS会員
能登 ノブ
保科清一郎
三浦 栄一
穴沢 義雄
会田 良治

わかれている。

保護司は新津地区に四十四名、五泉地区に十二名、村松地区に十名、白根地区に二十名で合わせて八十六名です。

本県下に一千六十五名全国には五万二千五百名がこの仕事に奉仕しています。

山の手にプール ついに完成

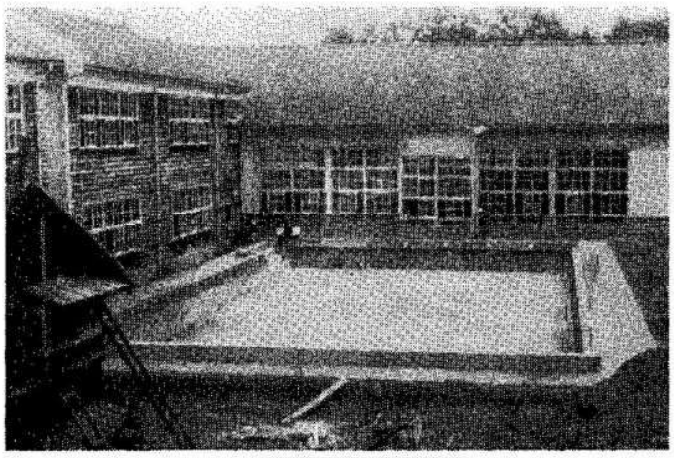
長い間、望まれていたプールも、昨年小学校わきに完成したが、いかんせん、矢代田小学校からはるばる泳ぎに来ると三時間はかかる、これではとても低学年は泳げないというわけで、急に矢代田プール建設の話が生徒やPTAの間でもりあがり、一応五カ年計画で完成させようという話になつたものの、どうせ作るなら早い方が良いという強い要望によつて、一挙完成をみるにいたつた。

一口にでき上がつてしまつたというとかんたんではあるが、その内面が大へんである。町部のプールの場合町部一戸当り寄附金が四〇〇円、山の手二二五円に対して、矢代田の場合は一、九〇〇円である。数字では、一、九〇〇円はほんのわずかに感ずるが、ない時には一円の金すらない我々階級にとつては大金である。

町部からの寄附金も加え総工費一九三万円、議会諮問八〇万円は通るかどうか、町部の場合よりも幾倍もなんぎをしている。

山の手プールには今後も、他の地区のみなさんのご協力をよろしくおねがいしたい。

なおプール開きは十七日頃の予定である。



完成した矢代田小学校プール

宮崎館長 さんの表彰

第十一回新潟県公民館大会は六月二十五、二十六日の両日小千谷市東中学校で開かれ、席上、優良公民館長として表彰された。

永久橋の起工式

七月三日永久橋の起工式が公民館で行われた。

総工費一億七千万円、巾六メートル、長さ一八八メートル、ワーレン式の近代的な橋で、更に白根側に四二メートルの木橋がつけ足される。これは後日河状整理される場合を予想したものである。

完成は三ヵ年計画で、三十七年五月頃竣工の予定。

なおかり橋は巾二、五メートルで近く入札される。

町の美観もそえ、交通の発展にも大いに期待されている。

みんなでレントゲンをとりましょう

―住民課―

新津保健所の協力で本年度のレントゲンによる健康診断を八月一日より九日まで実施致します。

様各人に受診票を配布致しますから、どうぞ一家揃つて気軽に検診を受けられる様お願い致します

健康診断実施日程表

日	時	
八月一日	午時九時半より正午まで	鎌倉公会堂
八月一日	午後一時半より午後三時半まで	天ケ沢公会堂
八月二日	午前九時半より午後三時半まで	矢代田公会堂
八月三日	午前九時半より午後三時半まで	新保公民館
八月四日	午前九時半より午後三時半まで	横水公民館
八月五日	午前九時半より午後三時半まで	小須戸公民館
〃八月八日		
〃八月九日		

昭和三十四年度健康診断成績

地区名	当該者数	受診者数	受診率
町部	2,158	1.760	81.5 %
矢代田	865	718	83.0
天ケ沢	273	261	95.6
鎌倉	251	223	88.6
新保	674	562	83.3
龍玄			
横川	594	480	80.8
小向			
水田			
計	4.815	4,004	83.1

意外に多い病的所見

子宮がん検診結果

五月に住民課より子宮ガンの早期検診手帳を約一六〇〇枚くばり、六月末まで県立病院で検診しましたがその結果うけられた八〇名の内、実にその約四割の三六名に病気を発見しました。これを年令別に見ると

年令	検診者数	患者数
30～35	五	〇
36～40	一四	七
41～45	一二	六
46～50	一七	二
51～55	二一	七
56～60	九	三
61～65	一	一
不明	一	〇
計	八〇	三六

実際にガンの疑をうけた者は一名でしたが、病的所見者の数は意外に多数でした。ガンは特に発見しにくく、しかも早く見つけることが大切な病気だけに、次の検診には、更に多数の人がうけられるようお願いいたします。

尚第二回目は、十月より十二月まで県立病院にて行う予定です。

（住民課）

なぎさ

見様……聞き様……話し様……

西幸子

育脳会談はフルシチョフの強要でお流れ、東西両陣営の対立は又もや厳しい冷戦の到来を予想させる。

罪もない可愛い坊やが誘拐されて殺され、冷血無惨な犯人は逃げている岸内閣の強引極まる安保新条約の単独採決、デモに次ぐデモそこえ南米チリの地震まで大津波と化して押し寄せ惨たる被害、なんと騒々しい荒々しい世の中であろう。

真剣に深刻に世相を考えるとまずノイローゼになりかねない。

これは創作ではないが横浜から東京へ走る国電の中で、白布に包まれた白木の箱に，故陸軍伍長何某の霊と書かれた遺骨がせまい通路に置かれその上に一人の男が腰をかけていた。遺骨の箱に腰をかけるとはいかに国破れたりとはいえども、この乱暴な無礼が赦されて良いものか。戦争という生々しい体験を持つ男は黙つて居られず殺気をはらんで近寄つた。

「オイ遺骨に腰かける奴があるか、貴様日本人か」

これは怒る方が当然だ。所で動じる風もない余計なお世話だハエでも追うように一言いつたものだ「貴様英霊に対してすまんと思わんか」

彼のいう事がふるつている。

「そりゃ見方によるさ、この遺骨は誰のだと思うこの俺の遺骨だよ〟バカな話さ〟俺は三月南方から復員して来たが、何と俺は戦死した事になつている。おまけに遺骨が届いたから取りに来い……俺はあきれたが俺の遺骨はどんなものか見てやろうと、ワザ／＼横浜迄頂戴に来たよ。箱をあけて見たら何んにも入つてやしねえ馬鹿／＼しくて、尻の下に敷き度くなるじやねえか……」と怒つた方があほらしくなる全くの話しがね。見様聞き様話し様で実に面白い話じやないか。こんな話しが世の中には幾つもころがつている。

どこでだつたかはつきりしないが、祭りの催しに龍の行進をしたそうだが、まがりくねつて進むのでこれは、ジグザグ行進であるとか、一種の集団行為であるとか便つた玩具の花火が火薬取扱法違反であるとか、批難された向きもあるとか、これなども見様、聞き様だ人間のやる事はどんな場合でも取締法にひつかかる様に出来ている。

かりに十五間もある龍が棒の様に直線休だつたらまがりくねつた道に差しかかつた場合どうなるか、当然体の一部が道からはみだす訳だから交通違反になる筈だ。

龍持ちの人達の足がジグザグ集団行為違反なら、むかでなんかこの世から姿を消していなければならんはずだが。

大手を否大足をふつて活歩している。実に道断な奴だ。

ジグザグ登りの富士登山も違反なら、子供の祭り花火も一々法に照らして取締りになるとしたら人間など手も足も出なくなる。見様、聞き様、話様で浮世は嬉しくも悲しくもどうにでもなるんだ。

本当の話しがさ、町のお祭りも近ずいたんだが見様、聞き様、話し様で楽しく出来そうなもんだが、どうせやらなけりゃならない祭、やるなら楽しく全町挙げてやろうじゃないか。

七月の新刊書が入りました

◇グアム島　伊藤正
◇能面の家　曾野綾子
◇江戸っ子侍（前編）　柴田錬三郎
◇源太郎（上）　川口松太郎
◇若君葵獅子　佐々木杜太郎
◇スペートの女王　横溝正史
◇尾瀬（マウンテン・ガイドブック）　田中和雄外
◇妙高、戸隠、野尻湖　下平広恵
◇成功は君のものだ　遠藤健一
◇烏葬の国　川喜田二郎
◇孤独な青年の休暇　大江健三郎
◇五条坂　野沢久雄
◇乱雲　松本清張
◇日本の黒い霧　松本清張
◇七転八起　竹森一男
◇人間天眼鏡　宮城音弥
◇一騎当千　源氏鶏太

お知らせ

一般者のプール利用

一般町民の利用は左の通りですので協力お願い致します。（時間厳守）

◎毎日曜、十四～十六
十五～二十七日の
◎午前十時より十二時まで
では、父兄と児童
◎午後一時より五時までは、一般者です。

親子いっしょに楽しむ夏を

壺屋徳一

夏の太陽がカッと町の舗道を、村の道を照らすと子供や若者たちの身も心も明かるく浮き立つてくる。老人たちにとつては夏の暑苦しさはむしろ苦労の種であるがエネルギーのみちあふれている青少年にとつては、善用すれば夏ほど身心の健全な発達に役立つ季節はない。ところが近年は夏といえば警察や学校の先生と親たちの心配のタネとなる。

この季節になると特に青少年保護育成運動とか補導問題に関係方面では大童のようであるが、これはひとりの子供や若者たちだけの問題として取り上げるべきでなく、大人も含めての問題である。幸い我が安住の地である小須戸町に新生活推進協議会が誕生していることであり、協議会自体の一つの問題として、これを取り上げ検討して、もつと社会全体の大人も含めての「夏季善用運動」として、社会全体の向上の中に問題を取上げてゆくような方向に持つて行くべきであろうと思う。

近頃の親たちは余りにも子供たちを構わなすぎるのであるまいか？ということは子供は放任していても育つもの、自分の子供に事故がなければ俺は忙しいんだ。という親の自然の放任の気持がそのまま子供達に鏡の如く映つてくるのである。ことに善悪の判断力に乏しい子供の場合などよく〳〵親たちはその子供の生活を見守つて補導してやるといつた気持を忘れないようにすることが大切であろうと切に痛感している。もつと〳〵子供の生活に溶けこんで親は親、子供は子供と別々の世界に住まず、子供と出来るだけいつしよに遊んでやることが大切なのであるまいか。子供たちとできるだけいつしよに遊び、遊びの中に共に学ぶことこそ近代の進歩した家庭生活の在り方であろうと思う。

事実東京辺の知識階級の多い山の手の家庭などは一家団らん海へ、山へ行くといつた風習が広まつてきているということを新聞やその他報道雑誌に報じられているが、これが本当の民主化された家庭の在り方であろうと思う。

ドイツや北欧諸国やソ連などでは夏が来ると、一年間の太陽のエネルギーを体いつぱいに吸収しておこうと一家そろつて海や山にくり出し日光浴に夢中になつて、そして子供たちの自然学習をかねて一夏を心ゆくまで楽しく暮すと聞いている。

ところが日本人は一般的に貧しいせいか、一家そろつて遊ぶといつたことのか、お父さん達はあまり能率のあがらない盛夏の炎天でも汗だくで、かけ廻つている向きが多いようである。むしろその分を気候のいいときに一生懸命に働いてよゆうを作つておき、夏は身心のレクリエーションにとつておくといつた社会の在り方でありたいものだと思う。近代的な生活の在り方というものは万事がそういうふうでなければならないのであるまいか。ノベツ幕なしの働くことを美徳？とするのはむしろ古しい貧乏性で、例え貧乏であろうと心は何時もゆとりを持ち、明かるい気持で常に子供といつしよに遊んでやるということが大切である。

国の宝を明るい家庭で育てよう

少年の非行現状は数の上で年々増加しているばかりでなく、その内容もまた悪質となり年令の点でも低年令のものに多くなつている傾向です。

この原因にはいろ〳〵の要素が含まれているが、私たちの身近にある家庭のことが大きく影響していることも見逃すわけに行きません。

誰しも子供は次代を背負つて立つ国の宝であるということは知つていますが、これをどのように育てるかについては案外関心が少ないと思います。そこで誰でも出来るどこの家庭でもできることを先ず取り上げて実行に移して行きたいものです。

子供には子供として大人には計り知れない世界があるわけだし、私たちも大なり、小なりこの道を歩んで来たわけですがつぎのような事柄について家庭のみなさんから関心を持つていただくならば、年々増加する非行少年もすくなくなり、大切な子供たちもこれからの真夏のきびしさにもめげず元気にすく〳〵と育つことでしよう。

❶子供の世界を理解すること。

保護者や家族の無理解から子供の持つている夢が破られ、ひいては放任される結果曲つた道に入ることが多いことです。なんといつても子供に対して保護者と家庭の理解と関心が持たれねばなりません。

❷しかるよりほめること

過ちや失策は誰にもあるがそれが少年の場合精神的痛手は大きいのに、親からガミ〳〵いわれたら反抗的となることを理解し、その原因をともども検討する温情があつて欲しいと思う。

ほめられて不快の念を抱くものはない。少年の善行は大きく讃える愛情こそ、純真な気持をすく〳〵伸ばす要諦ではないでしようか。（警察）

町連合婦人会

役員の増員

この度町連合婦人会副会長に町部の森内幸子さん、代議員に天ケ沢の土田ヨキさんが増員された。

一歩進んでいる亀田町

環境衛生活動を見て

新津保健所の親切なとりはからいで亀田町の環境衛生の状況を矢代田婦人会の役員で視察致しました結果を「広報こすど」の一隅をお借りして、皆さんの参考になりましたら幸と思いペンをとりました。小須戸町においても役場当局の指導によつて逐年環境衛生の整備に力を注いでおりますが、先進地だけの事はありまして積極的にこの事業が推進されておる様に見受けられました。亀田町公衆衛生協会という組織を作り各町内に支部を組織し支部内に十戸から二十戸の班を作り、それが横の連絡を保ちつゝ系統的に役場の衛生係に直結しておるのであります。よつて役場の職員が四〇日間連続に各地区に出向いて啓蒙し、カ、ハエ、ネズミの駆除と清掃に関心を持たれるように、又衛生会の編成に積極的な指導されたという事です。

唯単に婦人会の仕事のように考えられていたり、実施する地区も実施しない地区もあるように各人の意志に委ねられるので役場係員、支部役員のお話を聞いて有意義な一日をすごさせて頂きました。

一、清掃の行き届いている。

月一回日をきめて各家庭の主人が朝五時から六時までの一時間雑草茂る不潔になりやすい所は念入りに行届いています。

二、便所肥料だめに蓋をハイは明るい所を好むので必ずフタをする。看視員がいて不完全の所は良くなるまで注意する。又どこの班が良いか、どの家が一番良かつたかを皆なの見える所に貼り見てもらう。

三、畜舎の掃除のこと

一日三回餌をやる時必ず掃くという習慣がついている。カ、ハエの発生源になるのでカ、ハエの発生する時季は薬剤を絶対に使わないようにしているので、とてもきれいで家畜の肥育もすこぶる良好である。堆肥の野積は肥効を減ずるのでカ、ハエの発生源になるので良く蓋を掛けておく。

四、薬剤撒布の併行

薬剤撒布は勿論必要であるが、薬剤のみに頼らず発生源の絶滅ということにむしろ力が注がれています。

五、ネズミの撲滅について

共同でやらなければ撲滅する事が出来ない。

一定期間を限つて全町ぐるみでネズミの生態や、習性を良く知りその弱点をついて根絶をはかる事が必要。

六、各種奨励の実施

ハエ取り競争、ネズミ取り競争優賞カップ争奪戦とか、標語募集、各単位毎にその成果を競い、創意工夫が生れてより良い成果上がつている。

七、よりよい習慣の涵養

部落町内が一生懸命努力しております。また、子供たちは道路に紙くずが落ちていれば必ず拾つてごみ箱に捨てる様になつたし習慣づける事が第一というお話でした。

以上短文の中に要点のみ記述させて頂きましたが、その根底になる精神は「人様の迷惑にならないように」という事が、この事業を貫ぬいていることを痛感致しました。我が小須戸町も健康にして快適な生活環境を確立して、日々の生活に楽しみとうるおいを持つて行きたいと念願しております。

（矢代田婦人会）

嫁のサークル活動

A子

各地で嫁のサークルが誕生している今日であるが、小須戸でも現に小規模ではあるがサークルが結成され比較的家庭に閉じこもり勝ちな嫁の知識向上の為にも、又家庭の平和を築き上げる為にも大いに役立つていると耳にした。私も同じ立場であり双手をあげて賛成する。

小須戸に存在するサークルは現在わずかの金額を月掛けして年一回くつろいで近くの温泉に会合する趣旨だという。もし私が入会したら……最初はこんなことから始めても構わないが、できれば事業計画を具体的に立て会合の際には議題を各戸にくばり姑さんの意見をも取り入れたり、或は近くの温泉でも（経費を少なくしても良い）姑さんを無料招待したり、時には嫁さんの声として新聞らしきものを作つたり、（勿論姑さんの声も入れる）……これらを主張したいと思う。こんなことをいえば商売をそつちのけですか？と小言がでるかもしれないが、毎日さわぎたてる訳でもないし月一回や二回の夜の会合が、そんなに暮しの妨げになるはずはないでしようし、又年一回位は姑さんも嫁さんも慰安をかねた日帰りの視察も決して無意味でなく、社会的視野を広めるためにも充分役立ち、又明かるい家庭への礎となるだろう。

小須戸もいくつかの町内がある。小規模でも良い各町内でサークルを作つたら？、私は音頭を取り会し家庭を明かるくひいては町内を明かるくするために有意義なサークルを築き上げたいと切望する。

嫁の立場にある町内の先輩の方々、もしお気持があつたら近所の方と話し合つて見て下さい。

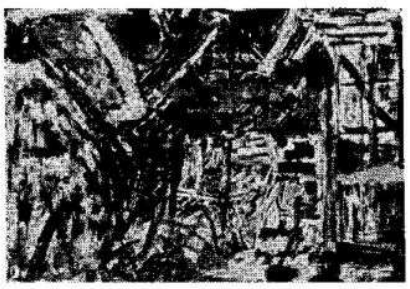
国民年金適用世帯調査に協力を！

七月十五日　配布
七月二十五日　提出
提出は至急嘱託員まで

（住民課）

＝寺お講展覧会入選作品＝

書　小須戸小一年　村山昌子
画　小須戸中三年　井上温子



お願い

家屋調査の実施に御協力を

昭和三十六年度が家屋評価の基準年度となつております。当町でもその趣旨に添い家屋調査を実施致しますので八・九月中に、みなさんのお宅に係員がお伺いして、家屋を調べさせて頂きますからお願い申上げます。

（総務課税務係）

若夫婦がそろって楽しくお勉強

横川の「おしどり会」

横川の「おしどり会」が発足したのは昨年二月だから、約一年半になるわけだ。

さて、この会が作られるようになつた事情をさぐつてみるに、青年団員として活躍しているころは非常に進歩的、理想的な考えを持つていながら、一たん結婚して家に入つてしまうと、きゆうに考えが変わつたように見受けられる人が多かつた。それにお嫁さんはお嫁さんで集まればおしゆうとさんのぐちをこぼし合つて日ごろのうつぷん晴らしをする位がせきの山で、それがかえつてしゆうとさんとの溝を深くするもとになり、決して家を明かるくする道とはいえなかつた。

そこで、二十数年間の住みなれた家を離れ、見も知らぬ所へ一人ではいつて来た嫁さんどうしが同じ立場で話し合うようにしたらどうか。それには嫁さん一人でなく夫も共に出席することにすれば、案外おしゆうとさんの了解も得やすいのではないかということになつた。

さて、会合をするにしても、どんなものにするかが問題になつたが、まず農繁期を除いて一ケ月に一回、夫婦そろつて集まること。そして農村の中堅として考えねばならない問題について関係のある映画をみた後で話し合つたり、「産児制限」についての話をきいたりもしたが、それより、年二回、家を離れて何の気がねもなくのび〳〵できる小旅行を計画した。第一回目は五十嵐川上流へ七月に、次回は田上へ十一月。第三回は咲花温泉へ行く予定である。

現在の参加人員は十五組（三十名）で、全部が二十代である。

今後も新加入者が多く出てくると思われるが、会員が増すにつれ運営上種々問題が予想されるがせつかくこゝまで育つてきたグループなのだから、グループ員が楽しみながら明かるい家庭、美しい村つくりに協力して次に生まれる子どもたちのためにも良い環境作りをたゆまずに続けてもらいたいものである。

A子さんの投書もあり、わが町のグループ活動について調べてみたところ、それ〴〵の目的の下に、楽しい集まりをつずけている大小さまざまのグループのあることがわかつたので、今回から紹介してみよう。

水害地のみなさんへ

日赤小須戸分区受付追加分

この度矢代田婦人会と矢代田小学校より、チリ地震津波水害のために東北の気の毒な人達に左記のお見舞品や現金等を送り関係者に大変感謝された。

矢代田婦人会より
衣類等　二十四包
米　五升
現金　一千弐百円

天ケ沢婦人会より
衣類等　四包
米　四升
豆　一升
現金　一千弐百円

矢代田小学校より
衣類等　五包
現金　参千六拾六円
米　四升五合

早苗響

小須戸町俳句同好会

実家より田植の日取り言うてきし　虚秋
バス降りて青野の風の人となる　龍朗
夜の燕ふるさとの雁木みな低し　越桜
一斉に嘴をそろえて巣のつばめ　一陽
用談は茶をもみながら午さがり　杏水
幼なき苗もて何故に田植急ぐ　向日葵
畦道や鎌の穴より豆二た葉　水月
明けてゆく山ふところの青葉哉　芳人
夜を待ちて訪わむ農家の春忙し　秀水
苗代を植えて夕餉おちつきぬ　香月
子を叱る興奮さめず開古鳥　流水

おくやみ

自　六月一日
至　六月三十日

田沢松太郎　小須戸
田中才一郎　〃
高山松次　新保
岡田鉄次　横川

おわび

ふとん作りの講習会は都合により九月に変更いたしました。

幼児のとりあつかいのお話

時　半
後一時　館長
分　室生
日　少年先館
七保人栄民
月　婦尾
八新県増公

きろ人　催
こす
とと話　主